

1 コンセプト

彩りと仕掛けに満ちた、まち・川・海を繋げる公園

サブ理念：人々が憩い・遊び・集いを創造し、大船渡の“これから”を育む

震災の記憶を未来に受け継ぎ、四季の彩りを感じながら
まちから海へと柔らかくつなげる空間
人々が自然と集い安らぎと楽しさに満ちた公園

まち City + 遊び Play + 仕掛け Gimmick + 憩い Oasis + 海 Ocean



2 公園づくりの方針

①人々が集い、交流を図るスペースのデザイン

- 隣接する商業施設と連携したイベントやバーベキューなど、レクリエーション活動がしやすい配置とする。
- 多様なイベント開催ができるよう固定した施設は設置しないよう配慮し、イベント活動の自由度を確保する。

②公園利用者が休憩や子どもを見守ることができるスペースのデザイン

- 散歩の際の休憩や子どもの遊びを見守ることができるよう四阿・ベンチ・緑陰を配置する。

③四季の移り変わりが感じられ、彩り、楽しめる植栽のデザイン

- 大船渡を感じられる市の花である椿を植える。
- 花、新緑、紅葉、落葉、木の実など彩りに配慮した植栽デザインを行う。
- 緑陰となる樹木を芝生広場に植える。

④大船渡のまちと海との繋がりが感じられるデザイン

- 大船渡のまちから夢海公園を經由し、海を展望できるみなと公園へとアクセスしやすい動線とエントランスを配置する。
- 大船渡のまちから海へ向かう際に景観を遮る高木は配置しない。

⑤震災の記憶を後世に継承するための「遺構」のデザイン

- 震災の出来事を忘れないよう震災遺構(茶茶丸パーク時計塔)を設置する。
- 震災遺構は、公園利用に支障がない場所にひっそりと設置し、定期的な清掃を行う。

種別	近隣公園
面積	約9,500㎡
竣工	H31.3末

